



No.805
2024.3.15

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

清水恭太郎さん (傘寿・80歳) のお祝いにかけつけました



↑昴の演奏(中央の私服が清水さん) ↓あいさつする清水さん



「清水恭太郎が皆様にお礼を伝える会」 盛大に開催さる！

3月3日(日) ホテル日航奈良の「飛天の間」をいっぱいにして“昴” Brの清水恭太郎さん主催の催し「清水恭太郎が皆様にお礼を伝える会」が開催されました。

清水さんは昨年、傘寿(80歳)を迎えられ、今回の「清水恭太郎が皆様にお礼を伝える会」は、今日まで生きてこれたことに感謝し、普通に歌が歌える社会、言い換えれば平和な世の中を創っていかねばならない、そのためには1歩踏み出さねばならないと思計画したと話されました。

この日は、歌って、飲んで、食べての集いとなり、最初は昴で、指揮と司会を坂井威文さん、ピアノは森二三さんで「いざ起て戦人よ」「人間の歌」など7曲、次いで紫金草合唱団が朗読入りで「紫金草物語」から4曲分を本並美德さん指揮で演奏しました。その後、ソプラノ歌手お二人が三曲ずつ、歌う会では11曲と全体3時間の内の半分の時間は歌の時間となりました。

スピーチでは、かつての職場の方から「清水さんの仕事は丁寧である」地域の方からは「清水さんがいてくれると気持ちが落ち着く」など清水さんの人柄が紹

3月～4月の活動予定 (会議を除く)

- 3/15(金) 18:00 定例レッスン
- 3/17(日) 14:00 定例レッスン
- 4/ 2(火) 15:00 T1・T2パートレッスン
- 4/ 5(金) 13:30 声楽中村教室
- ” 18:00 定例レッスン
- 4/ 7(日) 14:00 昴友の会『うたごえ喫茶』
- 4/ 9(木) 13:30 声楽千秋教室 I
- ” 18:00 Br・Bsパートレッスン
- 4/11(木) 17:00 声楽千秋教室 II
- 4/19(金) 18:00 定例レッスン
- 4/21(日) 14:00 定例レッスン

出演予定

変更のお知らせ

5/12(日) 大阪解放戦士合葬追悼会の出演は取りやめになりました。

新たな出演依頼

4/26(金) 平和遺族会 (上六・高津ガーデン)
13:00～リハーサル 13:30～出演 (オープニング)
詳細は後日

6/26(水) コーラス水輪(みなわ)と合同演奏会 (滋賀県高島市)
「水輪」は川妻さんが参加されているサークルです。

合唱発表会の曲目決定

「思い出すために」 「アメイジング・グレイス」

8月4日(日) 南部合発、9月8日(日) 大阪合発の演奏曲目が、「思い出すために」と「アメイジング・グレイス」に決定しました。

「思い出すために」は、昨年と同じく、信長貴富作曲、寺山修司の詩による6つのうたの曲集のタイトル曲です。(詩についての説明を1月号に掲載)

「アメイジング・グレイス」は、最近の日うたでオーケストラでよく歌われている曲ですが、森二三さんに編曲してもらったものです。(参考資料を裏面に掲載)

介されました。

昴のメンバーからは「お腹いっぱい食べて飲んで歌って楽しかった」などの感想がありました。

岡邑洋介

大阪のうたごえ協議会 総会報告

事務局長 立川孝信

3月3日(日)開催された大うた総会は92名参加、全会一致で方針や委員が選出されました。私は引続き副会長です、奥村さんは退任しました。私は昴コンサートや友の会について発言しました。

今年の日本のうたごえ祭典は佐賀です。合唱発表会は11月29日～12月1日佐賀市文化会館、大音楽会は11月30日サガアリーナです、荒木栄生誕100年記念で、地底のうた、わが母のうた、心はいつも夜明けだ、を歌います。

2027年は大阪祭典を決定しました。今年プロジェクトスタート、来年1月準備会、11月実行委員会、2026年大阪のうたごえ祭典、全国青年祭典を予定してます。祭典に向けてのサークルの意見は、北河内は合同コンサートする、職場のうたごえコンサートする、シルバーの団体によびかける、保育の若者によびかける、象列車をとりくむ、地域で取組みを増やす、など出ました。またサークルの活動報告では、北部はうた新を全員で分担して配ってる、松原ぞうは保育所に出前でぞうの演奏した、レガータはチャリティーコンサート11回目する、府庁は60周年コンサートを成功させた、ちばりよは沖縄支援の創作を広げてる、なのはなは創作の力で国を動かした、堺地域合同でコンサート取組み1400人で成功させサークルが誕生した、など発言がありました。



うたごえ喫茶

貴男も、貴女も、懐かしい唱歌や青春時代の思い出の歌など、思いつき声を出して歌う2時間です。

ピアノの伴奏で、みんなと一緒に？ それとも、お一人？ なつかしい思い出のひとときを、過ごしませんか？

日時：2024年4月7日(日) 午後2時より 約2時間

場所：ねむかホール

費用：500円

主催：男声合唱団 昴 友の会



ねむかホール
542-0012
大阪市中央区谷町7-1-39
新谷町第二ビル 308号



連絡先 岡邑洋介 090-8168-9347
立川孝信 090-6058-5652

昨年5月以来の、友の会主催の「うたごえ喫茶」です。できるだけ多くの参加で、盛り上げていきましょう。昴の良さ、楽しさを肌で感じてもらえるいい機会ですので、団員拡大の場として身近な人を誘って参加してください。昨年は、参加者35名(内有料参加者16名)でした。昴、友の会の演奏もします。

Amazing Graceについて

「Amazing Grace」は、日本のうたごえ合唱曲集には、「黒人霊歌」と書かれていますが、どんな曲なのか調べてみました。(吉岡)

元の歌は、イギリスの牧師ジョン・ニュートン(1725～1807)作詞の賛美歌「われをもすくいし」です。作曲者は不詳。

特にアメリカ合衆国では、ゴスペルとしても有名で、白人・黒人の別なく最も慕われ愛唱されている曲の一つであり、南アの元大統領ネルソン・マンデラの葬儀でも歌われるなど、賛美歌の中では世界的にも最もよく知られた曲の一つです。

Amazing「素晴らしき、驚くべき」 grace「恩寵、神の恵み」

一番の歌詞と日本語訳(「世界の民謡・童謡」から)

Amazing grace how sweet the sound
That saved a wretch like me(wretchは愚か者、不運なる者)
I once was lost but now am found
Was blind but now I see
驚くばかりの神の恵み 何と美しい響きであろうか
私のような者までも救ってくださる
道を踏み外しさまよっていた私を神は救い上げてくださり
今まで見えなかった神の恵みを今は見出すことができる

奴隷商人から聖職者、奴隷売買反対運動へ

ジョン・ニュートンは、父が東インド会社の船長で、11歳からいっしょに地中海貿易を行っていました。海軍への徴兵(脱走・交換)を経て、アフリカからの奴隷貿易をする船で働きます。

18世紀当時、イギリスはスペイン領土だったアメリカ植民地への奴隷輸出で巨万の富を得て、それが産業革命への礎となりましたが、彼もその一翼を担っていたのです。奴隷船は過酷で、奴隷の3分の1が死亡し、植民地での熾烈な労働で10年経たないで多くが死亡したので、どんどん供給が必要でした。

22歳の時、イギリスへ帰る船がアフリカ沖で嵐に会い、1か月の漂流の後イギリスに帰りましたが、その後は船長となって、29歳で重病になるまで奴隷貿易に従事していました。

30歳から宗教者の道を歩み始め、39歳で牧師になり、数奇な体験を記した本がベストセラーとなって、その後賛美歌集を作った中の一つがこの曲で、沈没寸前だった船の中での奇跡的な体験を通して、神の恵みに目覚めた彼の敬虔な心境がつつられています。1772年47歳頃に発表されています。

宗教者になって、奴隷貿易への疑問、自分の過去の罪への自覚から、奴隷売買反対運動に加わり、1807年奴隷貿易廃止が決まり、その年82歳で亡くなっています。